

ダブル
Wフランジ^ツIIのご紹介

後付けができるフランジ継手

WフランジIIの基本情報

WフランジIIとは

管端つば出し加工（フレア加工）をしたパイプを接続するフランジ継手です。
ボルト・ナット、ガスケットがプリセットされています。



WフランジIIの特長

唯一、**後付けができる**フランジ継手です。

WフランジIIは、施工性、安全性、正確性、コスト、全てにメリットのあるフランジ継手です。

製品ラインナップ

SGP用の標準品、**耐熱品**と**ステンレス管用**の3種類。サイズは、**65A~200A**までをご用意しています。

SGP用の標準品は、（一財）日本消防設備安全センター認定品です。

ステンレス管用は、（公社）日本水道協会品質認証センター認証登録品です。

WフランジIIのメリット



施工性が格段にUPします。

ボルト・ナット、ガスケットがプリセットされているため
施工スピードが上がります。



安全性が向上します。

フランジやボルト・ナットの落下の心配がありません。



正確に作業が完了します。

片締め防止、ガスケットの破断の心配がありません。



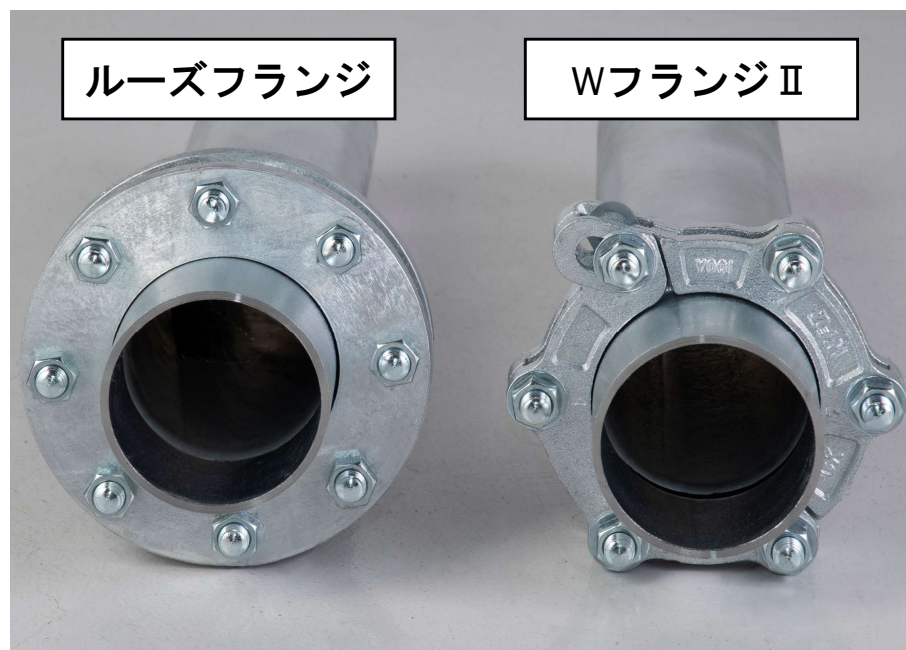
コストダウンができます。

運搬コストの削減、梁貫通穴の縮小により
トータルコストダウンができます。

WフランジIIの特長

- 01 外径が小さく軽量。ボルト・ナット、ガスケットがプリセットしてあるため、材料の拾い出し作業が容易。
- 02 ボルト本数が少ないため、作業時間短縮が可能。
- 03 フランジ後付けが可能のため、吊り込み重量が軽減。トラックへの積込量アップで、運搬コストダウン。
- 04 特殊ガスケットのため、対角締めが不要。ガスケットも破断しません。
- 05 梁貫通穴を小さくできるため、建築コストダウン。
- 06 施工確認が容易。フランジ本体が接触していることを目視で確認。

WフランジⅡの特長



ルーズフランジとWフランジⅡの外径

■ 外径が小さく、軽量

特殊形状により、外径が小さくなります。

重量はルーズフランジに比べ、

約50%減量しました。

また、ルーズフランジに比べ

ボルト本数を削減しています。

WフランジIIの特長



オリジナルガスケット

オリジナルガスケットで安心施工

ガスケットはCKオリジナル。

金属リングにEPDMを取付。

ガスケット**破断の心配**がありません。

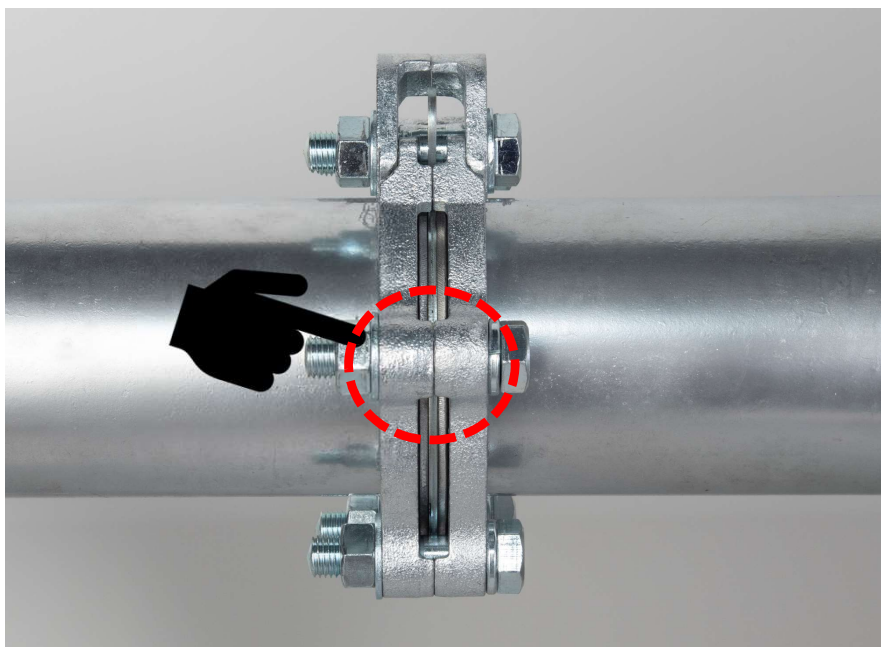
WフランジⅡの特長



梁貫通穴の縮径で建築コストダウン

フランジを後付けできるので、梁貫通穴はフレア外径でOK。フランジの外径分、**梁貫通穴を小さく**できます。

WフランジIIの特長



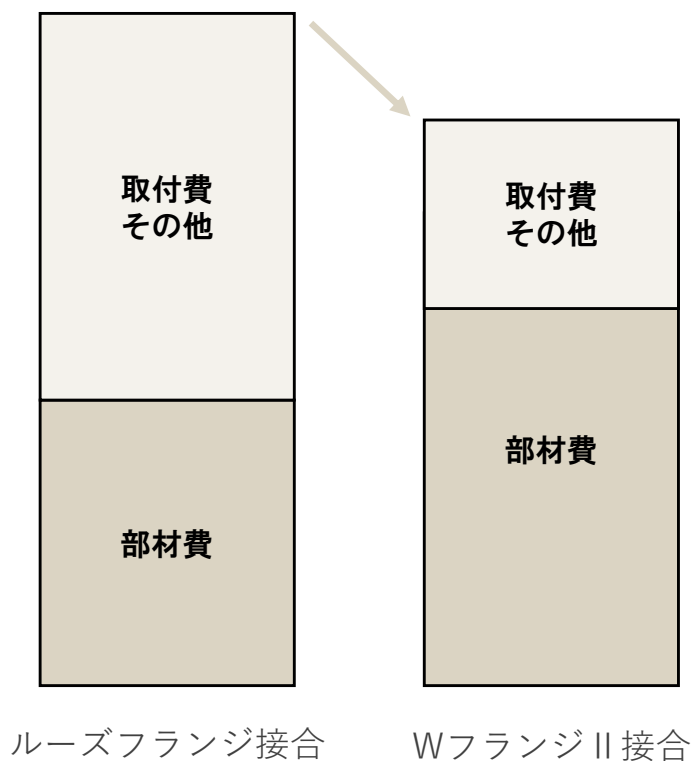
施工確認箇所

わかりやすい施工確認

施工確認は、フランジ本体が接触していることを確認するだけ。

一目で施工確認ができます。

WフランジIIの特長



トータルコストの削減

WフランジIIは、対角締めが不要且つ、ボルト本数も少ないため取付費を従来の**約50%削減**できます。更に、運搬コストや建築コストを削減できるので、トータルコストダウンが見込めます。

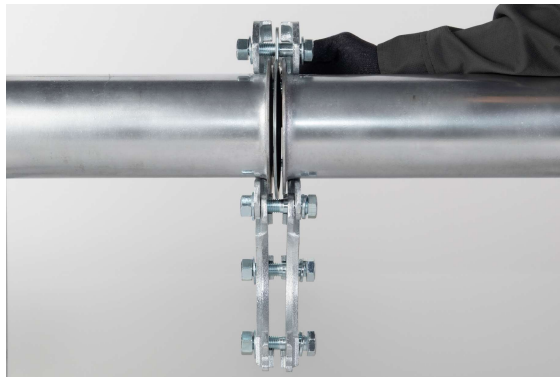
各フランジとの比較（100A）

	WフランジⅡ	割フランジ	ルーズフランジ
材料費	150%	140%	100%
取付費	50%	150%	100%
重量	3.7Kg	11.25Kg	7.5Kg
耐圧性能	10MPa	7MPa以上	7MPa以上

WフランジIIの施工手順（横引き配管の場合）



①WフランジIIをフレア部に取り付ける



②専用ガスケットをセットする



③本体を取り付ける



④スライドボルトをセットする

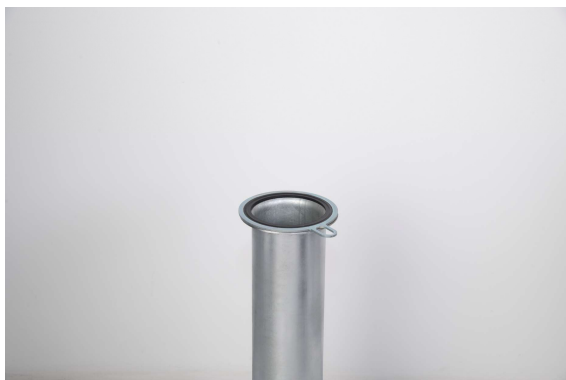


⑤ボルトを締め付ける



⑥本体が接触しているか確認する

WフランジIIの施工手順（立配管の場合）



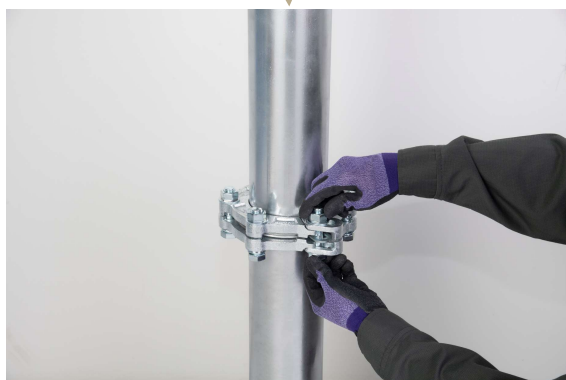
①本体からガスケットを取り出しセットする



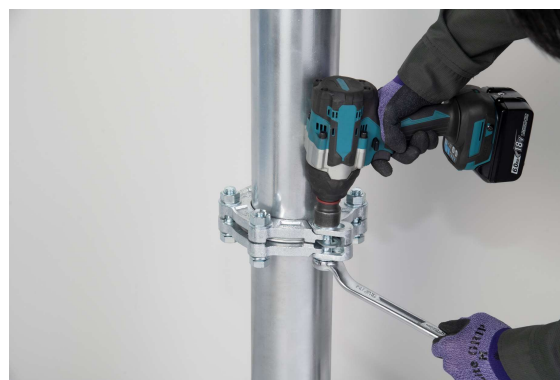
②上下のパイプとガスケットの中心を合わせてセットする。



③パッキンの穴と本体の穴位置を合わせて本体を取り付ける



④ボルトを取り付ける



⑤ボルトを締め付ける



⑥本体が接触しているか確認する

お客様の声



対角締めが不要で作業がラク！施工確認も容易で安心！

フランジが後付けの分、トラックへの積載本数が増え、コストダウンできた！



現場でボルト・ナットの余りや不足がなく、スムーズに作業できる！

よくあるご質問

Wフランジとどこが変わった？

本体を鋳物で作ることで部品点数を削減しました。
ボルトにゆるみ止めのスプリングワッシャーを追加しています。

他社のフレア管でも使える？

WSP071、SAS363の規定に適合している管端つば出し加工管で、当社の定める対応つば径内のフレア管がご使用いただけます。

なぜ対角締め不要なのか？

規定の位置まで締めこむと本体同士が接触するため
片締めを防止できる形状となっています。

再施工するときの注意点は？

ガスケットの交換とボルト・ナットが変形している場合は交換して
再施工を行ってください。

ガスケット単品で購入できる？

ガスケットのみの販売も行っております。